

わたしの写生地

阿蘇スケッチのご案内

熊本 小材 啓治

阿蘇山は、世界一のカルデラである。阿蘇山というのは、単一の山でなく、お盆の縁のような外輪山に囲まれた中に、阿蘇五岳とよばれる根子岳・高岳・中岳・往生岳・烏帽子岳が立ち並ぶ山々の総称である。外輪山の全長は二二八キロメートルと言われる。

阿蘇五岳と北外輪山の間の盆地を「阿蘇谷」と呼び、阿蘇五岳と南外輪山の間の盆地を「南郷谷」と呼ぶ。

鉄道は、北の阿蘇谷を大分に向けて走る豊肥線、南郷谷を走る南阿蘇鉄道がある。幹線道路は、阿蘇谷を走る国道五十七号線。南郷谷を走る国道三二五号線がある。三二五号線は高森迄で、高森から国道二六五号線となり、その二六五号線が宮地で五七号線と合流する。阿蘇山頂(中岳火口)へは、五十七号線からの阿蘇登山道赤水線と、阿蘇駅からの阿蘇登山道防中線がある。一の宮から外輪山へ登り、別府方面へ走る通称「やまなみハイウェイ」は、なだらかな丘陵の大草原を走り、気分爽快である。久住連山が連なり、スケッチにも良い場所が多い。お勤めのルートであるが、阿蘇スケッチに来る場合、少し時間的に無理かとも思われる。別府から車で阿蘇への計画の場合

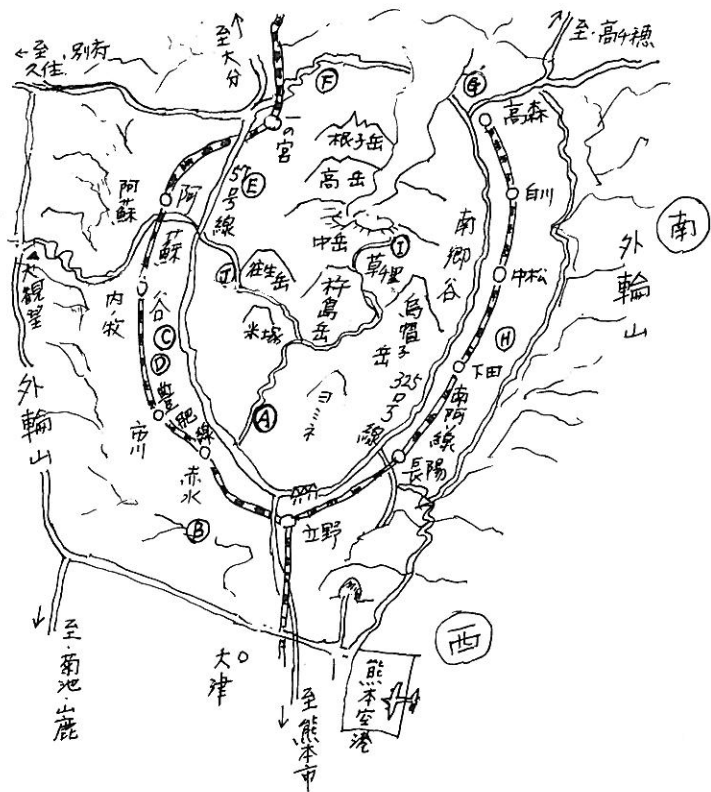
は、途中、二〜三枚のスケッチは可能である。阿蘇スケッチだけの目的の場合、熊本空港を利用すれば便利である。レンタカーを使えば、楽な阿蘇スケッチ旅行ができる。数名で利用すれば、価格的にも安価である。福岡方面からの場合、九州高速道を使い、熊本インターの次の益城インターで下りると阿蘇への案内が出てくる。

阿蘇は、温泉地である。温泉宿が各地にあり、国民宿舎や各種共済会館の宿もある。近年、各町で温泉宿泊施設が作られていて、スケッチ目的の人には、安く利用できて都合がよい。

スケッチの季節的には、春も良いが、霞の日が多い。新緑の頃はきれいだ。田植えの頃も魅力があるが、天気が心配である。真夏は緑が仲々難しい。晩秋から冬が最高である。ただ、九州にも、大雪が降る時があるので、そうなったら、あきらめて温泉に入るしかない。平地では、何事も無いのに阿蘇は雪という日が冬場は多い。一月から三月は、山の色もきれいだであるが、示現会の出品作に追われる時である。

スケッチに適した場所は、いたる所にある。五岳が無理な時は、ふり返れば外輪が描けるという具合である。それぞれ好みの風景もあると思うが、私なりに数ヶ所あげてみよう。大きく分ければ、

- 一、阿蘇山頂(中岳)
- 二、阿蘇谷からの五岳、又は外輪山
- 三、南郷谷からの五岳、又は外輪山



四、外輪山頂の草原や牧舎
ということになる。

場所決定の参考にといい、恥しながらそれぞれの場所でのラフスケッチを載せておいた。地図中のアルファベットと合わせてご覧いただきたい。

- ① 阿蘇登山道赤水線を少し上った所である。往生岳・杵島岳を望む。
- ② 赤水から北外輪へ上るルートで、外輪山の中腹ぐらいからのスケッチである。
- ③ 五十七号線から、内牧方面へ走った所より高岳のスケッチ。赤水から五十七号線と平行に北外輪側を走る道がある。この道を通ると色々好み五岳の姿が選べる。
- ④ 北外輪山をスケッチしたもの。同じ場所から五岳方向のスケッチ。北外輪のスケッチと時間のロスが省ける。



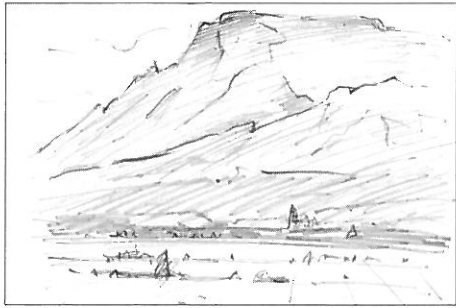
▲ B



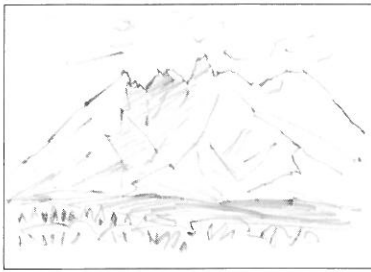
▲ A



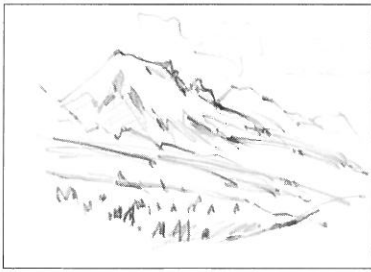
▲ D



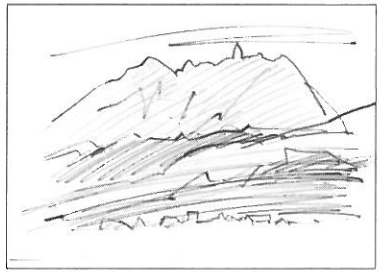
▲ C



▲ G



▲ F



▲ E



▲ J



▲ I



▲ H

- ⑤ 五十七号線沿いの畑の中からスケッチした根子岳。近づくとも山懐に入って描きづらくなる。五十七号線沿いが良いだろう。
- ⑥ 一の宮から三二五号線に入り峠に向うと目の前が開けてくる。箱石峠前より高岳・中岳・往生岳と遠くに連なる。
- ⑦ 南阿蘇国民休暇村よりの根子岳。この場所は、宿泊地としても利用できる。
- ⑧ 南郷谷（南外輪山麓）からのスケッチ。
- ⑨ 阿蘇山頂（中岳）火口への落岩道路のスケッチ。
- ⑩ 五十七号線阿蘇駅と山頂を結ぶ阿蘇登山道路防中線の途中から高岳スケッチ。
- 紙面の都合上、外輪山頂は省いた。他にも沢山あるが、ともあれ、阿蘇の雄大さは外輪山上からの眺めである。スケッチに適しているという訳ではないが、阿蘇の姿の大きさに人間の小ささを思い知らされる。
- 阿蘇は、スケッチの場所も多く。温泉も良いので是非一度スケッチにおいて下さい。